

# ふきのと

2024  
春号  
No.050

10月7日、  
新病院移転後  
初の病院祭を開催  
しました！



手術支援ロボット操作体験



キッズファーマシー



整形外科医師と管理栄養士による健康講座



川尻小学校吹奏楽部による演奏

## 神経筋難病の方々、 うまく歩けない事をあきらめて いないでしょうか？



脳神経内科 科長 大川 聡

徐々に筋力が低下する神経筋難病において画期的な治療法が開発されました。それは薬物ではなく、装着型ロボットHAL<sup>®</sup> (Hybrid Assistive Limb<sup>®</sup>) を用いたリハビリ治療です。

### ◎装着型ロボットHAL<sup>®</sup>

HAL<sup>®</sup>は筋力を増強させるリハビリ機器ではなく、患者さんの自立動作を支援するロボットです。HAL<sup>®</sup>は、患者さんの脳から神経、筋肉を介し皮膚に出てくる微弱な運動信号を体に付けたいくつかのセンサーで感知、即座に解析して瞬時に患者さんの脳が意図する運動をサポートします。これにより、筋力低下が進行し歩行のみならず起立がうまく出来ない方におかれましても、傷害筋に負担を強いる事なく、意図した運動に近い動作を行う事ができます。これまで当院では15名以上の患者様でHAL<sup>®</sup>による治療を行ってまいりましたが、驚くことに、多くの方でHAL<sup>®</sup>を装着しなくても歩行の改善を認めております。階段の昇り降りが楽になった、椅子からの立ち上がりが楽になった、などの感想を持たれる方もいらっしゃいますので、階段昇降がきつい方や歩けない方でもHAL<sup>®</sup>治療を是非検討していただきたいです。

### ◎対象疾患

現在、保険診療での適用が認められているのは、下記10疾患です：

- 脊髄性筋萎縮症
- 遠位型ミオパチー
- 球脊髄性筋萎縮症
- 封入体筋炎
- 筋萎縮性側索硬化症
- 先天性ミオパチー
- シャルコー・マリー・トゥース病
- 筋ジストロフィー

- HTLV-I関連脊髄症 (HAM)
- 遺伝性痙性対麻痺症

### ◎どのように治療を行うのか

治療のやり方は非常にシンプルです。HAL<sup>®</sup>を装着して起立・歩行運動を行うだけです。この運動を、基本、1回30分、週3回を連続して計9回実施します。HAL<sup>®</sup>は筋力増強機器ではありません。疲れるようなリハビリはむしろ効果が乏しく、HAL<sup>®</sup>を装着し如何に本来の自然な起立・歩行を行えるかが重要となります。慣れが必要ですので、当院では理学療法士、作業療法士がマンツーマンでリハビリ指導を行い、HAL<sup>®</sup>による自然動作を獲得できるようサポートいたします。



HAL<sup>®</sup>



HAL<sup>®</sup>を使用している患者さん

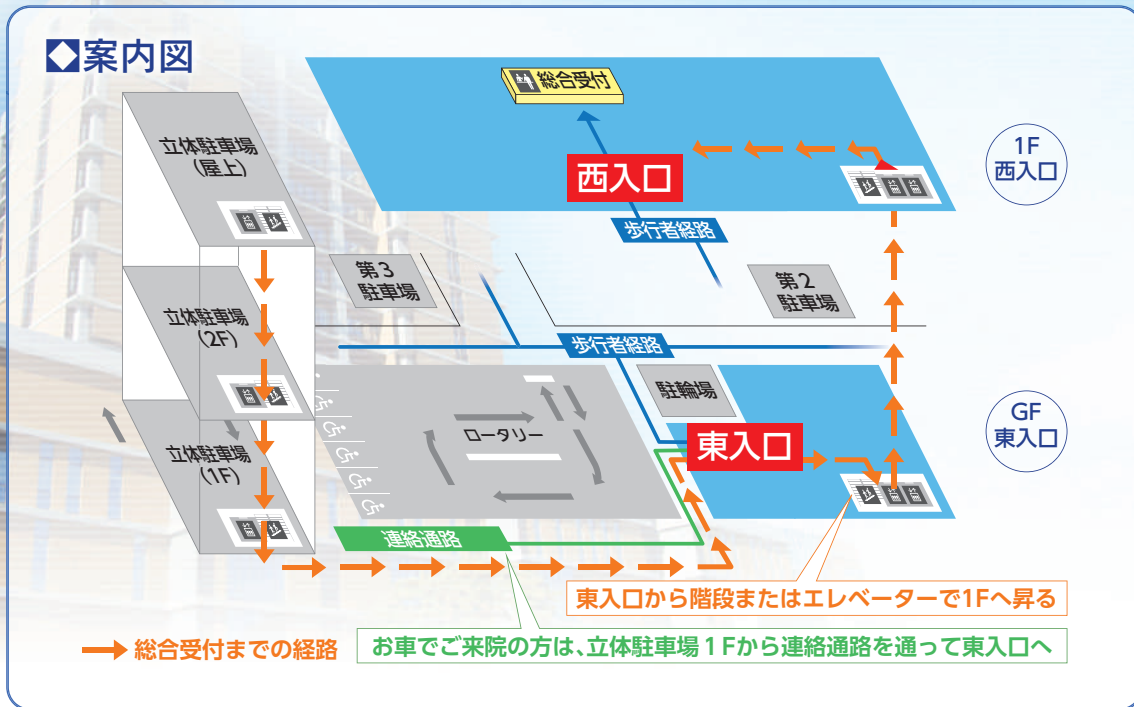
### お問い合わせ

お問い合わせは、市立秋田総合病院患者サポートセンターまでご連絡ください。

電話番号：018-867-7489  
(予約センター)

## 新病院屋外環境整備等工事に伴う通行ルートのご案内

- 立体駐車場(1階)からは東入口(G階)を接続する連絡通路を通して東入口からお入りください。夜間・休日も同様となっております。
- 4月1日(月)からは、病院西側から徒歩でのご来院の際は時間外入口をご利用ください。



### 部署紹介

## リハビリテーション科について

～作業療法士～



リハビリテーション科作業療法士について紹介させていただきます。まず作業療法士(OT: Occupational Therapist)とは基本的動作能力、運動や感覚・知覚、心肺や精神・認知機能などの心身機能の向上を目指し支援しております。難しいように思ってしまったかもしれませんが、食べること・トイレに行くこと・着替えること・仕事や趣味、家事動作等、何気なく行っていることが病気やけが、障害などで難しくなったとき、生活動作1つ1つの大切さに多くの方が気づきます。作業療法は障害とも折り合いをつけながら、自分らしさを取り戻すためのところとからだのリハビリテーションを実施し

ております。

当院のような急性期の病院は、病気やけがの直後からリハビリテーションを開始し、症状に合わせて基本的な機能の改善を援助するとともに、新たな機能の低下を予防します。

患者さんの生活に必要な日常生活動作(ADL: Activities of Daily Living)や家事動作、復職動作などを改善・拡大させ満足した生活を構築出来るように治療や援助・指導を行っています。さらに福祉用具等の助言も行っており、自分でできることが増えることで自立した生活へつなげていくことができると思います。

病気や怪我などで生活環境が変わり、不安を抱えている患者さんの精神面のサポートも含め、個性性を重視しながら最適なリハビリテーションプログラムを立案しております。

少しでも自律した生活を過ごすことができるようにスタッフ一丸となって取り組んでいきたいと思っております。

# 新病院での災害対策について

日本は、「災害大国」と言われています。最近では、秋田県の豪雨災害や能登半島地震などの大きな災害が発生しており、防災対策は最重要事項であるといえます。

災害拠点病院である当院は、様々な防災対策を行っております。ハード面としては、震度6強～7程度の大地震後、構造体を補修することなく使用出来る耐震安全性を目標に、医療棟に免震構造、管理棟に耐震構造を採用しております。また、機械設備や電気設備等を中間階に配置し、水災害に対する配慮を行っているほか、専用の災害備蓄倉庫を設け、3日分の食料を常備しております。さらに、水・燃料も3日以上を確保しており、大規模災害時においても、病院機能を維持できるように準備しております。ソフト面では、年に一度、多数傷病者の受け入れを想定した訓練を行っております。また、月に一度、防災に関するワーキンググループを開催し、災害医療に関する職員育成も行っております。



災害備蓄倉庫



ボイラ・非常用発電機設備



免震装置

## 免震構造とは？

建物と地盤の間に「免震装置」を設置し、地震エネルギーを集中的に吸収することで上部の建物の揺れを大幅に低減します。

大地震でも建物被害はほとんどなく、建物内部の被害（家具の転倒、収容物の損傷）を最小限に留めることができます。

## 令和6年度能登半島地震に係る災害医療派遣について

令和6年1月1日に能登半島地震が発生し、石川県は甚大な被害に見舞われました。このため、当院からも職員を派遣し、災害医療対応を行っております。

災害医療を行う組織は、主にDMAT（災害派遣医療チーム）とJMAT（日本医師会災害医療チーム）が存在し、DMATは、発災後48時間以内に迅速に派遣される組織であり、災害現場での緊急医療対応を行います。また、JMATは、被災地の医師会や行政と連携し、災害後の長期間にわたって医療支援を担う組織であり、被災地の救護所や医療機関、避難所などで医療支援を行います。

当院のDMATチームは、最初に北部の能登町に入り、自衛隊機および救急車による患者搬送を行いました。また、同町内の福祉施設2カ所で訪問診療および処方を行いました。JMATチームは、現在まで当院で2回チームを派遣しており、1回目は南部の加賀市内の温泉施設に救護所を設置し、2次避難者の往診と処方を実施しました。2回目は石川県庁内のJMAT調整本部に入り、活動チームの管理や災害診療情報のとりまとめなどの本部業務の活動を行いました。

災害拠点病院に指定されている当院は、一人でも多くの命を助けるため、今後も災害医療派遣に積極的に協力して参ります。



能登町内の被災状況

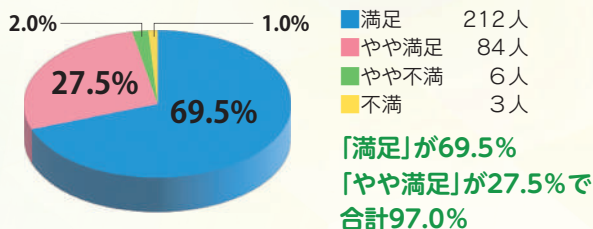


JMAT調整本部

# 患者満足度調査について

## 入院

### Q 今回の入院の全体的満足



#### ■ご意見

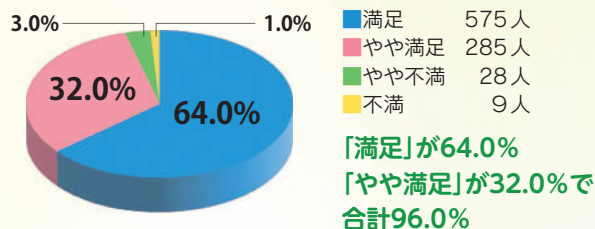
- 患者サポートセンターがあり段階的に説明を受け解りやすかった。
- 皆さんの言葉遣いが丁寧で優しく、とても良かったです。
- 話しかけづらい雰囲気があった（看護師）  
→挨拶や言葉遣い等のご指摘もありました。今後、更なる接客教育に努めてまいります。

#### ■ご要望

- 入院生活上のルールは、主要な項目だけでもベッドごとに書いたものを置いた方がいいと思います。  
→感染対策の観点から現在はベッド周囲へ配置していません。「入院のご案内」へ記載しておりますが、わかりやすいよう工夫してまいります。

## 外来

### Q 全体としてこの病院に満足していますか？



#### ■ご意見

- 新しくなり明るく外来待合室は外の木々が見れてとてもよい。待ち時間が短く感じました。
- 先生はじめスタッフの対応が良く気持ちよく受診できました。
- 診察後の会計処理がもう少し早いと助かります。いつも30分～1時間待ちになります。

#### ■ご要望

- 駐車場が少ない  
→11月のグランドオープンでは178台の平面駐車場が完成し、バスターミナルも併設されます。ぜひご利用ください。
- がん相談支援センターについて  
そういった機関があるのはとてもよいと思います。機会があれば利用したいです。大々的に周知したらいいと思います。  
→ホームページ、広報誌等で情報発信してまいります。

## まとめ

今回の結果を院内で共有し、いただいた評価、ご意見、励ましなどを医療サービスの向上に役立てていきます。ご協力ありがとうございました。



## 登録医のご紹介

### 木村耳鼻咽喉科

院長 木村 洋元 先生



令和5年9月1日に川尻上野町に「木村耳鼻咽喉科」を開業いたしました、木村洋元と申します。横手市平鹿町出身の秋田大学卒で、若く見られますが50歳の中年と真ん中です。昨年まで秋田赤十字病院に15年ほど勤務しておりましたが、実は平成17年から3年2か月市立秋田総合病院に、工藤和夫科長のもと勤務しておりました。二人体制でしたが頭頸部がんの長時間手術に励んでいたことを懐かしく思い出します。開業にあたり、ちょうど古巣に帰ってきた格好になり、この地域に強い縁を感じております。

当院はコロナ禍が世間的にも少し落ち着いた後の開業となりましたが、患者さんのトリアージの重要性を鑑み、小さいながらも発熱外来スペースを有しています。5類にランクダウンしたとはいえ、医療機関のコロナウイルスへの扱いはまだまだグレーであり、それぞれが責任をもって判断・対応する必要があります。今も毎日が試行錯誤ですが、おかげ様で開業初日より途切れることなく発熱外来は活躍してくれております。

また、市立秋田総合病院放射線科のご協力のもと、CTやMRIといった精密な画像検査を外注させていただいております。これらの画像検査は正確な診断に必須な時代であり、インターネット経由で当院か

ら速やかに検査予約を取ることが出来ます。比較的待ち時間も少なく、結果も当院で説明しておりますので、今後どんどん活用していければと考えております。

最後に、診察していくうえでの私のモットーは「ともに疾患に向き合う」です。患者さんが自身の疾患に前向きに向き合っていくために必要なのは「正確な病名」です。そのため、短い診察時間でも、なるべく一人一人に想定される病名を告げることを、時に自作の説明書を用いて、これまでも実践してまいりました。病名を知ること、御自身で検索も可能になり、より情報を得て前向きに臨んでいけると信じているからです。今後も当院をよろしくお願い申し上げます。



診療受付時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	●	●	●	●	●	▲	×
14:00~18:00	●	●	●	×	●	×	×

※休診日：日曜日、祝日、木曜日午後 ※▲…土曜日は9時から14時まで。  
※最終受付時間は各診察終了時間の15分前です。

# てんかん専門外来を開設いたしました

てんかん発作というと「意識を失い白目をむいて手足を突っ張らせる」という症状を想像される方も多いのではないのでしょうか？しかし、以下のような痙攣をおこさない発作も多く見られます。

## ●意識が保たれる発作：

なつかしい景色が目の前に浮かぶ、恐怖感・不安感に襲われる、視界がおかしくなる、実在しない音が聞こえる、うまく話せない、人の話が理解できない、など。

## ●意識が低下する発作：

ボーッと一点を見つめ動作が止まる、口をモグモグさせる、手をもぞもぞ動かす、意味のない動作を繰り返す、何をしていたのか覚えていない、など。

発作時間は通常、数秒から1分程度で、近年は小児よりも高齢者に多いことが分かっており、意識が低下する発作を知らずに生活されていると大きな事故を招く事があります。

脳神経内科では、原則、学会認定てんかん専門医/脳波専門医が、思春期以降の患者様の診療を行っており、右記のような方々が対象となりますので受診を是非ご確認ください。

◎痙攣などの不随意運動を起こしたり、気を失ったりすることがあるが、てんかんが原因なのか知りたい。

◎てんかんのお薬の治療を行っているが発作が良くなる。

◎現在、服用しているてんかんのお薬の副作用が気になる。

◎自分が自動車運転を行って良いのかどうかかわからない。

◎出産を考えているが、てんかんのお薬の子供に対する影響が心配。

◎自分のてんかん治療に関して、てんかん専門医の意見を聞いてみたい。

◎小児科に通院しているが、年齢からそろそろ成人科へ通院先を変えたい（移行期医療：トランジション）。

**診察日** 完全予約制 毎週：火曜日  
午後1時から午後2時

**担当医** 脳神経内科 科長 大川 聡（てんかん専門医）

**お問合せ** 平日：月曜日から金曜日  
予約センター（018-867-7489）で受付

## 院内教室・健康講座のお知らせ

◎会場は全て5F講堂

詳しくはこちら  
をご覧ください



テーマ	開催日	参加費/申込み	問い合わせ先
市民公開講座	令和6年7月13日(土) 10時~12時	無料/不要	患者サポートセンター
	【内容】手術支援ロボットを用いた新しい低侵襲手術について（泌尿器科・婦人科・消化器外科）		
みんなの健康広場	毎月第4金曜日 15~16時	無料/不要	医事課
	【内容】生活習慣病を中心に、専門の医師らが最新の情報を含めてわかりやすく解説します。質問もお受けします。		
糖尿病教室	毎月第2火曜日（予定） ※開始時期は、6月予定です。	無料/不要	医事課
転倒予防教室	年2クール（1クールにつき4回実施）	骨密度検査費4,500円/必要	経営企画室
呼吸教室	年6回程度 毎月第2木曜日	無料/不要	総務課
IBD教室	第1回 令和6年5月下旬、第2回 令和6年11月下旬	無料/不要	総務課
肝臓教室	年6回程度	無料/不要	医事課
がんサポート教室	年5回程度	無料/不要	医事課
腎不全教室	毎月第2火曜日（予定）	無料/不要	経営企画室
母親学級	毎月第3水曜日 13時30分~15時 ※対象者 当院で出産予定の妊娠30週以降の妊婦さん	無料/不要	予約センター
笑顔カフェ（認知症カフェ）	年5回 奇数月第4木曜日	無料/不要	認知症疾患医療センター

## 市立秋田総合病院

### 理 念

●市立秋田総合病院は、すべての人々の幸福のため、良質で安全な医療を提供し続けます。

### 基本方針

- 常に医療水準の向上に努め、地域の中核病院として多様化する医療への要望に応えます。
- 患者さんの権利や意思を十分に尊重し、診療情報の提供による相互理解に基づく医療を行います。
- 医療の安全のさらなる向上に努め、患者さんが安心できる医療を行います。
- 職員にとり働きがいのある就労環境の整備に努め、質の高い医療人を育成します。
- 業務の改善と効率的な運営に努め、健全で安定した経営基盤を確立します。

編集・発行/市立秋田総合病院 令和6年3月11日発行

〒010-0933 秋田県秋田市川元松丘町4番30号 Tel (代表): 018-823-4171 Fax: 018-866-7026

E-mail: ro-homn@akita-city-hospital.jp https://www.akita-city-hospital.jp/